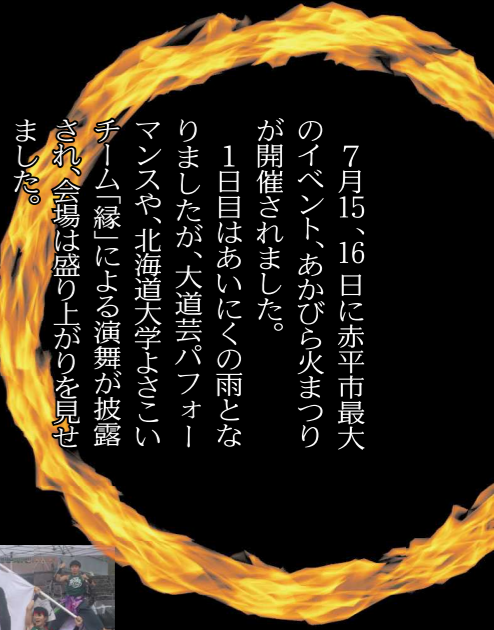




第52回 あかびら火まつり

—赤平が最もアツい2日間—

7月15、16日に赤平市最大のイベント、あかびら火まつりが開催されました。
 1日目はあいにくの雨となりましたが、大道芸パフォーマンズや北海道大学よさこいチーム縁による演舞が披露され、会場は盛り上がりを見せました。
 雨が降る中、市内を駆け巡り、タイムツの火を会場へと連んだ赤平ランナーたち。会場は熱気に包まれ、人々は点火された火文字に目を奪われている様子でした。
 好天に恵まれた2日目。気温が高い中で開催された市民踊りでは、キレのある踊りと、豊かな表情を見せたあかびら市立病院職員福利厚生会が、大賞を受賞しました。
 花火大会が始まる頃には、会場に多くの人が集まり、活気に溢れていました。みんなの思いを乗せた4,000発の花火が赤平の夜空を彩り、集まった人々を魅了しました。
 4年ぶりに通常開催となった、あかびら火まつり。2日間で、およそ2万9千人の人々が会場に足を運び、多くの人が赤平のアツい夏を体感した2日間でした。



大勢の人で賑わった花火大会



火みこしと火文字

